

第4次日野市男女平等行動計画評価シート

I-1-1 ★重点施策	男女平等意識・人権尊重意識の醸成	担当課	学校課・中央公民館・子育て課・保育課・平和と人権課
-------------	------------------	-----	---------------------------

1. 第4次日野市男女平等行動計画(令和3年度～7年度)での位置づけ

- 目標 I 人権が尊重される社会づくり  
 施策の 1 性別に基づく固定的役割分担意識の解消  
 方向性

- ◇ 男女とも一人ひとりが、自立と思いやりの意識を育み、個人の尊厳と男女平等の理念を推進するための教育、及び広報・啓発活動を実施します。  
 ◇ 家庭、学校、地域や職場などにおける男女平等・人権尊重のさらなる意識づけをめざし、学習機会(研修など各種講座、情報誌やホームページを活用した情報提供等)を充実します。また、性自認・性的指向を理由として困難な状況に置かれることのないよう、誰もが多様性を認める意識づくりを行います。

2. 各事業の達成状況(担当課評価)

<達成状況の評価>  
 5:大いに達成できた 4:やや達成できた 3:どちらともいえない 2:やや達成できなかった 1:達成できなかった

No.	事業	担当課	内容	年度ごとの目標				計画終了時の目標	達成状況					
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
1	保育士・教職員などへの男女平等意識の啓発	学校課・子育て課・保育課	子どもの保育や教育などに携わる保育士・教職員などに職員研修等による男女平等意識の普及・啓発を図る。	・東京都教育委員会が作成した人権教育プログラムに基づいた研修を実施する。 ・学童会議等における職員への啓発を回数、内容とも推進する。 ・園毎の職員会議などで意識の確認 1回以上/年	・東京都教育委員会が作成した人権教育プログラムに基づいた研修を実施する。 ・男女平等意識・人権尊重意識の醸成に特化した職員研修等に取り組む。 ・園毎の職員会議などで意識の確認 1回以上/年	・東京都教育委員会が作成した人権教育プログラムに基づいた研修を実施する。 ・男女平等意識・人権尊重意識の醸成に特化した職員研修等に取り組む。 ・園毎の職員会議などで意識の確認 1回以上/年	・東京都教育委員会が作成した人権教育プログラムに基づいた研修を実施する。 ・保育士・教職員などの男女平等意識が高まっている。 ・園毎の職員会議などで意識の確認 1回以上/年	・東京都教育委員会が作成した人権教育プログラムに基づいた研修を実施する。 ・保育士・教職員などの男女平等意識が高まっている。 ・保育士などの男女平等意識が高まっている。	4.3					
2	学校現場における男女平等教育の推進	学校課	学校生活において、男女の固定的な役割分担による偏りをなくす取り組みをする。	<b>担当課の目標設定の記入欄です。 令和7年度までの年度毎の目標を、各担当部署自身に設定しております。</b>					<b>担当課の目標設定に対する達成状況評価の記入欄です。 令和7年度までの年度毎に担当部署自身に達成状況評価をしております。</b>					
3	家庭・地域・職場での男女平等意識の啓発	中央公民館・平和と人権課	男女平等参画に関する情報を収集し市民へ提供する。性差別、性別に基づく固定的役割分担意識及び偏見などを解消し、一人ひとりが男女平等に関する認識を深めるための講座など、学習の機会を提供する。	・LGBT講座を年1回以上実施 ・人権に関する講座の検討・実施 ・男女共同参画に関する情報をチラシラックやホームページを活用して提供する。 ・市民向け講座等を展開し学習の機会を維持する。	・LGBT講座を年1回以上実施 ・人権に関する講座の検討・実施 ・男女共同参画に関する情報をチラシラックやホームページを活用して提供する。 ・市民向け講座等を展開し学習の機会を維持する。	・LGBT講座を年1回以上実施 ・人権に関する講座の検討・実施 ・男女共同参画に関する情報をチラシラックやホームページを活用して提供する。 ・市民向け講座等を展開し学習の機会を維持する。	・LGBT講座を年1回以上実施 ・人権に関する講座の検討・実施 ・男女共同参画に関する情報をチラシラックやホームページを活用して提供する。 ・市民向け講座等を展開し学習の機会を維持する。	・各種講座の実施により、学習の機会を提供し、市民の男女平等意識や人権意識が高まっている。 ・男女共同参画に関する情報が提供されている。 ・学習の機会がある。						
4	男女平等に関する情報提供の充実化	平和と人権課	情報紙(男女平等推進センターだより)を発行する。男女平等推進センターのホームページを活用し、情報提供を行うために内容を充実する。男女平等に関する国際規範・基準に関する情報提供を行う。市民貸出し用の男女平等推進センターの図書・視聴覚教材などの充実を図る。	男女平等推進センターとして、情報誌・ホームページ・貸出図書等を最新・有益な情報展開できるように務める	男女平等推進センターとして、情報誌・ホームページ・貸出図書等を最新・有益な情報展開できるように務める	男女平等推進センターとして、情報誌・ホームページ・貸出図書等を最新・有益な情報展開できるように務める	男女平等推進センターとして、情報誌・ホームページ・貸出図書等を最新・有益な情報展開できるように務める	男女平等推進センターとして、情報誌・ホームページ・貸出図書等を最新・有益な情報展開できるように務める	4					

I-1-1 ★重点施策	男女平等意識・人権尊重意識の醸成	担当課	学校課・中央公民館・子育て課・保育課・平和と人権課
-------------	------------------	-----	---------------------------

3.達成状況 評価の理由(担当課評価)

No.	実施できたこと・達成できたこと	実施できなかったこと・達成できなかったこと	今後の課題
1	<p>学校課 東京都教育委員会が作成した人権教育プログラムに基づいて、各</p> <p>学校に人権教育の重要性について任用説明会や学童会議等で啓発を図った。</p> <p>保育課 職員会議で意識の確認を実施(男女で分けない保育、「～さん」と呼ぶ、「男(女)の子なのに～」などと言わない)</p>	<p>学校課</p>	<p>学校課</p>
<p><b>担当課の達成状況・今後の課題等を担当部署に記載してもらいます。</b></p>			
2	<p>学校課 学校生活における男女の固定的な役割分担は見当たらなかった。</p>	<p>学校課</p>	<p>学校課</p>
3	<p>中央公民館 人権に関してはハンセン病問題の講座を開催し、ドキュメンタリー映画を見た後、参加者でグループディスカッションを行った。参加者の中には教育関係の方も多く、教育現場でも人権問題に対する関心の高さが垣間見られた。現実を知らない参加者にとって理解を深める場を提供することができた。</p> <p>平和と人権課 男女共同参画週間パネル展(R3.6.15～6.29)、STOP The DVパネル展(R3.11.12～11.25)、人権週間パネル展(R3.12.4～12.10)の実施。 中学校対象デートDVに関する出張講座や、女性の再就職支援講座など各種市民向け講座を実施できた。</p>	<p>中央公民館 講座を開催したが、10～20代の若い方の参加が少なかった。</p> <p>平和と人権課</p>	<p>中央公民館 ハンセン病問題についての認識や歴史を知らない若い世代をターゲットとした情報発信の在り方と理解の促進。</p> <p>平和と人権課 社会情勢等を踏まえた講座の開催方法・日時・内容の検討を行う。</p>
4	<p>平和と人権課 男女平等センター情報誌「ふらっとだより」を発行した。男女平等推進センター内図書コーナーの蔵書を増やした。また、国や都の情報をホームページで発信した。</p>	<p>平和と人権課</p>	<p>平和と人権課 情報誌紙面の充実及び蔵書の選定。</p>

4.施策の評価(本部評価)

3年度	<b>4.3</b>
4年度	#DIV/0!
5年度	#DIV/0!
6年度	#DIV/0!
7年度	#DIV/0!

**本部評価委員コメントの記入欄です。  
施策単位の評価と本部評価委員からコメントをもらいます。**

本部評価委員 コメント

- ・子供のころからの学びや体験を通して考え方が定着するので、教育環境の重要性は高い。子供たちがしっかりと学んでいけるように、教師などの学習環境の周囲にいる大人に対して研修や講座を実施し、男女平等意識・人権意識の醸成をしてもらいたい。
- ・講演会、パネル展、フォーラム、男女平等推進センターの事業等を通し、男女平等意識を啓発することは大変難しいが、重要な事業である。市民に身近に感じられる題材を用いることで、多くの市民が参加したくなるように啓発する方法を今後も検討してほしい。
- ・回復傾向にあるものの、コロナ禍の状況もあり、展開の仕方には今後も一層の工夫が求められる時代になってきている。しかし、男女平等意識の定着に向けての啓発活動を維持していくことは重要なので、開催方法や項目を検討しながら、取組の幅や枠を広げていただきたい。
- ・男女平等意識を市民が情報に触れやすい・親しみやすい環境づくりを目指して、なるべく様々な手段で工夫を続けていただきたい。
- ・市民や職員に向けて男女平等意識の醸成を進めるためには、地道だが繰り返し事業を展開することによる積み重ねが大切である。引き続き事業の継続をしていただきたい。

5.施策の評価(市民評価)

市民評価委員 コメント

**市民評価委員コメントの記入欄です。**

**箇条書きとし、括弧内にお名前を入れていただけますと、事務局が内容を確認する際に大変助かります。**

例)

- ・ ~だと思えます。(貫井)